

日下田 正先生による 第3回染色特別授業

11月6日(土)、江戸寛政年間から続く益子町日下田紺屋において、本校生活教養科2年「ファッション専門分野生徒(22名)」が、染織家 日下田 正 先生(栃木県無形文化財指定、栃木県文化功労者)による特別授業を受講しました。

今回は、7月13日、9月28日に続く第3回目の特別授業で、あらかじめ絞っておいた綿ローンのハンカチーフを、藍甕の中の液体(スクモ(藍の葉)を発酵させて作られた)で染色する藍染めを体験しました。ハンカチーフを藍甕に付けて染色しては、空気に触れさせるという作業を繰り返し、深みのある藍色に染まっていく過程の面白さ、また藍染めの素朴な美しさに魅了されました。化学染めでは決して表現することのできない自然の美を知ることができ、また手仕事の温もりを県文化功労者である日下田 正 先生から直接ご指導いただくことができ、とても貴重な体験となりました。この体験を今後の作品制作に活かしていきたいと思います。



寛政年間初期から続く紺屋



甕場において藍染め実習



絞った糸をほどいてみると・・・



日下田先生と記念撮影